

日本スポーツ社会学会会報

Vol.47

Sport Sociology

目次

- | | |
|------------------------|----|
| ・ 日本スポーツ社会学会第17回大会のご案内 | 2 |
| ・ 学会事務局からのお知らせ | 6 |
| ・ 平成19年度第2回理事会議事録 | 7 |
| ・ 学会・研究会情報 | 10 |
| ・ ISSA MEMBER へのお誘い | 13 |

日本スポーツ社会学会
Japan Society of Sport Sociology
2007年1月

日本スポーツ社会学会 第17回大会のご案内

1. 開催期間

2008年3月17日(月)・18日(火)

2. 会場

中京大学 名古屋キャンパス センタービル(地下鉄「八事」駅下車、5番出口すぐ)

※会場までの交通については中京大学ホームページでご確認ください。

3. 主催

日本スポーツ社会学会

4. 日程

※大会スケジュールは、発表申込者数などによって若干変動する予定です。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	
16日								2007年度 後期理事会				
17日		2007・2008年度 新旧合同理事会	受付	一般発表 I	講演・シンポ I			総会	懇親会			
18日	一般発表 II	講演・シンポ II		昼食	講演・シンポ III		一般発表 III					

5. 参加申込み

学会ホームページの「参加申込み」から、フォームに従って必要事項をご記入の上送信いただくか、今回同封した申込み用紙にご記入の上、大会実行委員会までFAXか郵送でお送り下さい。

【参加申込先】

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101 中京大学 現代社会学部

日本スポーツ社会学会大会事務局 宛

TEL/FAX 0565-46-6517 nisyama@sass.chukyo-u.ac.jp

3) 参加費

参加申込みと同時に、郵便振替にて大会参加費を大会事務局の口座までご送金下さい。

正会員 10,000円 (懇親会不参加の場合 6,000円)

学生会員 7,000円 (懇親会不参加の場合 3,000円)

【振込先】

郵便振替 口座番号 00870-0-205944

口座名称 日本スポーツ社会学会第17回大会実行委員会

※ 学会大会案内に同封の振替用紙をご利用下さい。

※ 恐れ入りますが、手数料は各自ご負担願います。

※ 支払者の連絡先(住所と電話番号)を振替用紙に必ずご記入下さい。

6. 一般研究発表資格に関する注意事項

「日本スポーツ社会学会大会開催に関する規定」第5条による、一般研究の発表者の資格は次のとおりです。

1) 発表者及び共同研究者は、日本スポーツ社会学会員であること

2) 発表者及び共同研究者は、その年の年会費を納めていること

3) 発表者は大会参加費を納めていること

4) 大会に参加しない共同研究者は、大会参加費を納める必要はないこと

なお、発表申込者は「年会費」「大会参加費」の納入状況をご確認ください。未納の場合には、発表できないことがあります。(年会費納入の確認については下記へ、大会参加費については大会参加申し込み先と同じ中京大学の大会事務局へ問い合わせをお願いします。)

【年会費の納入確認先】

〒187-0045 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学部 松田恵示研究室内

日本スポーツ社会学会事務局

TEL/FAX 042-329-7643 jsss jimukyoku@gmail.com

7. 一般研究発表される方へ

一般研究発表される方は、抄録集に掲載するための原稿を以下の要領で作成し、**2008年1月31日(木)**までに大会実行委員会事務局まで送付してください。

1) 書式

①A4用紙2枚、縦置き、横書き、1枚当たり40字×50行の2000字(論題、発表者氏名、所属を含む)で、上下左右の余白を20mm取ってください。

②論題、発表者氏名、所属を原稿の冒頭に入れてください。それぞれの下に英語表記を入れてください。

2) 発送方法

①ワープロソフト等を使用して原稿を作成し、プリントアウトしたものを、厚紙等で保護した上、郵送してください。

②このホームページから送付する場合は、マイクロソフト社ワード文書かテキスト形式のファイルを、「抄録データ」に指定し添付して送ってください。図表等が入る場合は、念のため刷り上り原稿を大会実行委員会事務局まで郵送してください。

※送付された原稿をそのまま抄録集として印刷しますので、完成原稿をお送り下さい。

3) 原稿提出〆切

原稿提出締め切り 2008年1月31日(木)

※ 期日までに提出されない場合には、抄録集に掲載されませんのでご注意ください。

4) 発表に関する注意事項

①一般研究発表の時間は、発表20分、質疑応答10分です。

②発表の際に使用する機器(PC・プロジェクタ、VTR(VHS・DVD))については、申し込みの際に明記してください。

③パワーポイントによる発表を希望する方は、できるだけUSBフラッシュメモリにてデータをご持参ください。

④当日、発表資料を配布する場合は、各自70部以上を持参してください。

⑤今次大会は2008年7月26日～29日に京都大学で開催されるISSA/International Sociology of Sport Association World Congressの準備大会に位置づけられています。したがって、一般発表に際しましても、本書式の裏に記載した「推奨テーマ一覧」に沿った発表を行い、ISSAでの英語発表につなげることが期待されています。

8. プログラム並びに抄録集について

大会プログラムは、2月中旬頃をめどに、学会ホームページで公開します。また、抄録集は3月上旬に大会参加者に郵送する予定ですが、学会大会当日にお渡しすることとなる場合もありますので、ご了承下さい。

9. 宿泊について

恐れ入りますが、各自でご準備下さい。名古屋地区は都市規模に比べてホテルの数が少ないので、お早めに予約されることをお勧めします。名古屋ガーデンパレス(私立大学教職員共済組合宿泊施設)など、主要なホテルは地下鉄東山線「伏見」駅から「栄」駅の沿線に散在しておりますので、ご参考までに。

10. 問い合わせ先

今次大会について、何かご質問がありましたら、下記にお問い合わせください。

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101 中京大学 現代社会学部

日本スポーツ社会学会大会事務局 宛

TEL/FAX 0565-46-6517 nisiyama@sass.chukyo-u.ac.jp

担当：西山 哲郎

学会事務局からのお知らせ

● 学会 HP をリニューアルしました

すでにお気づきの方も多いと思いますが、学会 HP が昨年の 11 月よりリニューアルされています。多くの皆様からのご意見をいただきながら、より使いやすいものを目指すことができればと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、今回の HP は、東京学芸大学準教授で、グラフィックデザインの部門でこれまでも数々の賞をおとりになり、高い評価をお受けになられている正木賢一氏 (<http://web.mac.com/magmog1/masaki/HOME.html>) に制作を依頼しております。

● 2007 年度の会費の納入にどうぞご協力ください

学会の運営は、会員の皆様方からの会費によって行われております。2007 年度(あるいはそれ以前)会費納入がまだお済みでない方は、どうぞ至急にご入金いただけますようお願い申し上げます。

● メールマガジン 「事務局だより」の配信を開始いたします。

情報化社会が進む中、近年は、学会事務局に入ってくる情報も多くなり、年 4 回の会報だけでは、なかなか十分にお伝えしきれなくなって参りました。そこで会報とは別に、メール配信による「日本スポーツ社会学会 事務局だより」という媒体を新設して、速報性を重視した情報発信を新しく行うことを理事会でお認めいただきました。

不定期の発信となり、また、レイアウトなど紙面構成もほとんど工夫のないものとなりますが、どうぞご活用いただけますようお願い申し上げます。

(事務局 松田恵示、原祐一、宮坂雄悟)

日本スポーツ社会学会 2007年度第2回理事会 議事録

日時 2007年9月7日(金) 午後2時 ～ 午後5時(予定)

場所 神戸市総合教育センター 805号室

出席者 伊藤、菊、松田、中江、杉本、山下、松村、西山(ob.次期大会開催校)、
原(ob.事務局幹事)、宮坂(ob.事務局幹事) 理事7名、オブザーバー3名

欠席者 清水、野川、山口、黄、内海、飯田、中島

- ・ 配布資料確認
- ・ 会長挨拶
- ・ 理事長議事進行

1. 審議事項

(1) 第17回学会大会について

大会実行委員長の西山氏から資料に基づき概要が報告され了承された。

(2) ISSA Japan 2008 について

杉本理事から資料に基づき、準備委員会による検討の経緯、会長のスティーブ氏とのやりとり、ならびに、概要、資金、HP、日程と今後の予定、セッション案などの大会原案について報告された。いくつかの事項について検討した後に、原案が承認された。

(3) 「購読会員」の廃止について

事務局より、資料に基づき説明がなされた。現行制度では、会費を3000円納入するにも関わらず定価2000円の研究誌を送付されるだけになっていること。図書館では定期購読の形式が取れることなどについて意見が交わされた。ただ、「購読会員」制度を存続させるメリットも会員にはあることから、継続審議することとなった。

(4) 学会HP管理ならびに外注化について

広報委員長代理として、松田理事から資料に基づき提案があった。HPの意義が高まる中、管理の難しさもあり、基本的にはHPに関して外注化する方向は確認された。いくつかの見積もりから業者の選定について検討したが、検討された意見に基づき事務局と広報委員会で再度業者と折衝し、理事長決済を経て原案通り実施することとした。

(5) 研究誌発送業務の合理化について

現在学会大会時に手渡しし、残りを事務局から発送している研究誌について、一括して発行元の創文企画に依頼し郵送による配布とする案が検討され承認された。この際、名簿等個人情報の管理に対して、創文企画との契約書の中に附帯条件として書き込むことが確認された。

(4) 海外在住会員の取り扱いについて

特に研究誌の送付、会費の振込等で問題となる海外在住会員についての問題点が事務局より報告された。これまでの経緯等、いくつかの点から検討されたのちに、特に会費振込の方法等再度便宜を図るやり方を事務局で検討する方向で継続審議とすることとなった。

(5) 「事務局ニュース」の発刊について

速報性に重点を置いた不定期のメールニュースを事務局から発送することが提案され承認された。

(6) 会員名簿について

事務局より名簿の発行時期になっていることが報告され、内容構成や意義についていくつかの意見が交わされ、継続審議とすることとなった。

(7) 入退会者について

資料に基づき報告がなされ承認された。

(8) 次年度学会候補地について

関西大学黒田会員と折衝中であることが報告され、次回理事会で決定することとした。

(9) 研究誌の年2回発行について

中江理事より資料に基づき報告があった。年2回発行体制の必要性や基本的な方向性については確認されたが、実施のプロセス、時期、ISSA Japanとの連携、特集論文のあり方などいくつかの意見が交わされ、編集委員会で再度検討することとなった。また加えて研究誌における使用言語について、次期総会にてルールを提案する方向で検討することとなった。

(10) 「学生理事」の創設について

菊理事長より、学生会員のあり方について、特に、理事選挙権や学生役員などの点から検討していきたい旨の提案があり了承された。

2. 報告事項

(1) 各委員会活動報告

1) 編集委員会

中江理事から「スポーツ社会学研究」次号の編集状況が報告された。投稿論文数は、原著 11 本、研究ノート 1 本であった。

2) 研究委員会

研究委員長代理として松田理事から、課題研究と ISSA セッションテーマの検討状況について報告があった。

3) 国際交流委員会

杉本理事から、今後、国際交流に関わる情報をリスト化することを検討していることが報告された。

4) 広報委員会

広報委員長代理として松田理事から、会報の発行について報告された。

(2) 事務局

松田理事から、以下の件について事務局で処理された旨が報告された。また、外部からの各種候補者の依頼については、前会長・前理事長、現会長・現理事長の順にお願いし、辞された場合には、理事長と事務局にその扱いを一任するという基本方針が確認された。

- ・ 「国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦」について
- ・ 「帰国外国人留学生専門資料送付制度に関するお尋ね」について
- ・ 「社会学系コンソーシアムニューズレターへのご協力のご願い」について
- ・ 「日本学術会議健康・スポーツ科学関連協力学術団体との連携」について

●次回理事会は、12月15日 1時より、筑波大学大塚キャンパスで開催されることとなった。

以上
文責 松田恵示)

学会・研究会情報

シンポジウム 「乳幼児期から発育期の子どもの身体活動・スポーツ」

主催 日本学術会議 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会

共催 日本体育学会, 日本体力医学会 他

後援 舞踊学会、比較舞踊学会 他

日時 平成20年3月18日(火) 13:00-17:00

場所 日本学術会議 講堂

開催趣旨

次世代を担う子どもの数を増やすことと、その子ども達の健全な育成は、我が国の重要施策になっている。また、それは、親や指導者達の人間としての願いでもある。解決しなくてはならない課題は様々あるが、中でも、身体活動を如何に活発化させるかは、「動く」ことを基本とする人間にとって極めて重要なことである。しかし、子どもの身体活動・スポーツ活動の基準に関して、幼少期からの一貫した基準は示されていない。20才から69才の国民に対しては、平成17年、厚生労働省は生活習慣病の発症予防のための身体活動・運動量・体力の基準(健康づくりのための運動基準-身体活動・運動・体力-)を策定した。本基準の対象にならなかった19歳以下の国民にとっても、身体活動・運動は多くの観点から必要であると考えられる。

そこで、本シンポジウムでは、特に幼児期から発育期の子どもの身体活動・スポーツのあり方について、多面的な科学的エビデンスを基に、子どもの運動ガイドライン策定に向けた議論を行うものとする。

プログラム(案)

シンポジウム「乳幼児期から発育期の子どもの身体活動・スポーツ」

座長 大築立志(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

田畑泉(日本学術会議連携会員、健康・スポーツ科学分科会幹事、(独)

国立健康・栄養研究所健康増進プログラムリーダー)

開会挨拶 加賀谷淳子(日本学術会議会員、日本学術会議 健康生活・科学委員会委員長、健康・スポーツ科学分科会委員長、日本女子体育大学名誉教授)(13:00~13:10)

第一部 子どもにとっての身体活動・運動・スポーツの現状と問題点

1. 子どもにとっての身体活動・運動の現状と問題点

体力科学の観点から 小林寛道(東京大学教授) (13:10~13:30)

発育発達学の観点から	中村和彦（山梨大学准教授）	（13:30～13:50）
心理学的観点から	杉原隆（東京学芸大学教授）	（13:50～14:10）
医学的観点から	岡田知雄（日本大学准教授）	（14:10～14:30）

第二部 こどもの身体活動・運動・スポーツガイドライン

1. 諸外国の子どもの身体活動・運動ガイドライン

下光輝一（東京医科大学教授）（14:45～15:05）

2. 行政における子どもの身体活動・運動・スポーツへの取り組み

文部科学省の取り組み

鈴木 隆（文部科学省 スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課長）（15:05～15:25）

厚生労働省の取り組み

関 英一（厚生労働省 健康局 生活習慣病対策室長）（15:25～15:45）

3. 子どもの身体運動ガイドライン試案-日本学術会議健康・スポーツ科学分科会から-

大築立志（日本学術会議連携会員、東京大学教授）（15:45～16:15）

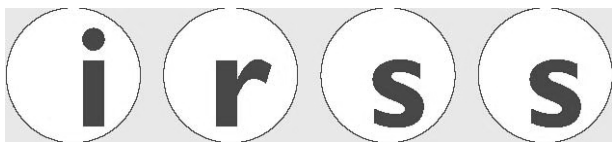
4. 総合討論

（16:15～16:55）

指定発言（連携学協会）を含む

閉会挨拶（16:55～17:00）

進行：田原淳子（日本学術会議連携会員、健康・スポーツ科学分科会幹事、
国士舘大学准教授）



International Review for the **SOCIOLOGY OF SPORT**

ISSA members get IRSS free!

Volume 41 Issue 3-4, December 2006

De-Sportization of Fighting Contests: The Origins and Dynamics of No Holds Barred Events and the Theory of Sportization

Maarten van Bottenburg and Johan Heilbron

Building Social Capital Through an 'Active Community Club'

Cora Burnett

Men's Talk: A (Pro)feminist Analysis of Male University Football Players' Discourse

Ben Clayton and Barbara Humberstone

Global Regimes, Local Agendas: Sport, Resistance and the Mediation of Dissent

Mark Falcous and Michael Silk

Sociogenesis of a Social Field: The Cultural World of Mountaineering in France from 1870 to 1930

Olivier Hoibian

Daughters of Islam: Family Influences on Muslim Young Women's Participation in Sport

Tess Kay

'We've All Got The Bug For Euro-Aways': What Fans Say about

Irss disseminates research and scholarship on sport throughout the international academic community, publishing standard research papers, research notes, book reviews and audio-visual reviews.

Irss is not restricted to any theoretical or methodological perspective and welcomes contributions from anthropology, cultural studies geography, history, political economy, semiotics sociology and women's studies, as well as interdisciplinary research.

Since sport is a truly global phenomenon, irss is strongly committed to publishing contributions from all regions of the world, thereby promoting international communication among scholars. irss is the journal of the International Sociology of Sport Association (ISSA).

Volume 42 Issue 1, March 2007

New Zealand Bodybuilder Identities: Beyond Homogeneity

Anne Probert, Sarah Leberman, and Farah Palmer

'The Times They are A-Changin': Gender Comparisons in Three National Newspapers of the 2004 Wimbledon Championships

Jane Crossman, John Vincent, and Harriet Speed

'Healthification' and the Promises of Urban Space: A Textual Analysis of Place, Activity, Youth (PLAY-ing) in the City

Caroline Fusco

The Relevance of the Black Atlantic in Contemporary Sport: Racial Imaginaries in Norway

Mette Andersson

Real Cyclists Don't Race: Informal Affiliations of the Weekend Warrior

Justen P. O'Connor and Trent D. Brown

Game, Name and Fame — Afterwards, Will I Still Be the Same?: A Social Psychological Study of Career, Role Exit and Identity

Jonas Stier

Volume 42 Issue 2, June 2007

2008 Membership Application

Use this form for renewals
and post or fax to:

SAGE Publications, 1 Oliver's Yard,
55 City Road, London, EC1Y 1SP, UK

Tel +44 (0)20 7324 8500 Fax +44 (0)20 7324 8600

www.sagepub.co.uk

Membership Categories

ISSA Membership, Category A: US\$72.00/GBP£40.00

Please ✓ next to

appropriate category: US\$36.00/GBP£20.00

ISSA Membership, Category C: US\$18.00/GBP£10.00

ISSA Membership, Student US\$18.00/GBP£10.00

Please type the following information:

Last/Family Name:

First Name:

Address:

Research Interests (please list three areas):

PLEASE TYPE YOUR E-MAIL ADDRESS HERE:

Daytime Tel:

METHODS OF PAYMENT

Please ✓ next to preferred payment option, and insert
information where indicated with **XX**:

I enclose a cheque (*payable to SAGE Publications*)

for (please insert amount): **XX**

OR

Please charge my credit/debit card:

Visa

Mastercard

American Express

ISSA/AISS

The International Sociology of Sport Association/
Association Internationale de Sociologie du Sport
invites you to renew your 2008 membership.
ISSA comprises an active body of scholars who study
sport from the perspectives of sociology, social
psychology, anthropology, history and political
economy. The objectives of ISSA include:
**fostering research in the social scientific study
of sport**

**encouraging international communication
among scholars**

**promoting collaborative cross-national
research projects**

developing scholarly exchange via:

- **publication of the International
Review for the Sociology of Sport**
- **sponsoring annual symposia**
- **promoting communication with
other national and international
sport-related organizations**

All members receive:

IRSS (4 issues per year)

Information on ISSA symposia and
publications

For more information please contact: Dr Elizabeth C.J. Pike

General Secretary, ISSA

School of Sport, Exercise and Health Sciences,
University of Chichester, College Lane, Chichester,
PO19 6PE, United Kingdom

Phone +44 1243 816356 **Fax** +44 1243 816080

Email e.pike@chi.ac.uk

<http://www.chi.ac.uk>

Professor Steven J. Jackson

President, ISSA

School of Physical Education, University of Otago, P.O.
Box 56, Dunedin, 9001 New Zealand

Phone +64 3 479 8943 **Fax** +64 3 479 8309

Email steve.jackson@otago.ac.nz

<http://physed.otago.ac.nz>

ISSA IS AN AFFILIATED MEMBER OF THE INTERNATIONAL
SOCIOLOGICAL ASSOCIATION (ISA) AND THE INTERNATIONAL
COUNCIL FOR SPORT SCIENCE AND PHYSICAL EDUCATION
(ICSSPE) AND UNESCO.